

令和
4年度

白石区ふるさと会 / 札幌市白石区

PRリーフレット
SAPPORO

白石でっち奉公 奮闘記



白石でっち奉公は、小・中学校の児童・生徒が就労体験をする事業です。

次代の白石を担う子どもたちに、地域で働くことを通して、学校や家庭ではできない体験をさせてあげたい。働くことの大切さや楽しさ、ふるさと白石の良さを知ってほしい。そのような想いから「白石でっち奉公」は誕生しました。

平成13年に白石区ふるさと会の主催で始まったこの事業は、「地域で子どもたちを育てよう」という趣旨が広く受け入れられ、現在は白石区ふるさと会と白石区が区内小・中学校と協力して実施しています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年度より本事業の実施を中止していたため、3年ぶりの開催となった令和4年度は、7校1,193名の生徒が参加しました。

なお、この取り組みが子どもたちの「キャリア教育」の充実に効果があると認められ、白石区ふるさと会は、平成24年度「文部科学大臣表彰」(文部科学省)及び「キャリア教育推進連携表彰」(文部科学省、経済産業省)を受けました。

※令和4年度は小学校からの参加希望がなかったため、中学生を対象に行いました。

令和4年度白石でっち奉公 実施概要

◆実施日・参加校

9月8日	北都中学校	197名(2年生)	11月10日	東白石中学校	161名(2年生)
9月12日	白石中学校	143名(2年生)	11月16日	幌東中学校	169名(2年生)
11月9日	柏丘中学校	205名(2年生)	11月17日	日章中学校	180名(2年生)
	米里中学校	138名(2年生)			

【参加者数】区内中学生1,193名 【受入先】区内企業、団体、施設等122企業(団体)

※ 当日の急な欠席等により参加できなかった生徒を含みます。